萩まちじゅう博物館でゆったり、じっくり観光!
世界遺産登録プレ10周年

萩

PR

今年の萩市の観光キャンペーンのロゴマークが決定した。テーマは「#萩旅」。萩を訪れる観光客にひとりひとりに、それぞれの旅があるとの思いから、いろいろな「萩旅」の楽しさを提案していく。今後、萩での楽しみ方の提案や、思い出を共有できるフォトコンテストなどを実施する。昨年の萩しっちょる?フォトコンテストに採用されている。2023年の萩市の観光客数は約382万人で前の年を上回ったものの、コロナ禍前の2019年に比では85%でインバウンドが回復傾向にあることからコロナ禍以前の水準への回復を目指す。

萩観光キャンペーンポスター

#萩旅

#萩旅ロゴ

2024年は萩まちじゅう博覧会を開催。世界遺産登録プレ10周年

萩まちじゅう博覧会は萩全体を屋根のない博物館と見立てる「萩まちじゅう博物館」を期間限定で拡大したもの。萩まちじゅう博物館は、2014年、萩博物館の開館を契機にスタートし2024年は20年の節目の年となっている。ノンパビリオン型のイベントとして、萩を好きな人が、萩を楽しむために、「萩のおたから」を使ったプログラムを作り、旅でつなぐ催し。「萩のおたから」とは、具体的には、歴史的なまちなみや豊かな自然景観、伝統ある地場産業、四季折々の花や旬の味覚など、地域や暮らしの中で大切に育まれてきた、後世に残したいと思う「もの」や「こと」。

暮らしや風景に出会い、技や食に触れることができる、さまざまなプログラムが、萩のまちじゅうで、同時期に開催。博覧会を通して、萩まちじゅう博物館を体感したり、萩に住む人と萩を訪れる人の間に和やかな交流が生まれ、また萩に行きたいと思えたり、もっと萩を好きになる機会になることを目指す。

2024春・秋　本博覧会開催予定

2024年は「萩まちじゅう博物館」が開館から20周年を迎えることを記念し、本博覧会として春（5月頃）と秋（11月頃）に開催予定。期間や実施プログラムが決まり次第、公式HPや公式インスタグラムで公開。

昨年開催のプレまちじゅう博覧会の人気のプログラム

萩・土原の武家屋敷であなただけのドリップバッグコーヒーをイージーオーダー式のブレンドコーヒー作り

武家屋敷の敷地内にある長屋門珈琲で、コーヒー鑑定士のスタッフから説明を聞き、5～6種類のコーヒーの中から、好みの組み合わせをみつけて、オリジナルブレンドコーヒーをつくる体験。萩ゆかりの維新の偉人をコーヒー豆に見立てた曼荼羅も用意されており、味の好みだけでなく、自分の尊敬する偉人や仲間たちのブレンドも可能。ブレンド名は自分で付けることができ、スタッフがブレンドしたドリップバッグコーヒー2包にして貰える。待ち時間にはコーヒーと小菓子も楽しめる。所要時間の目安は1時間。

長屋門珈琲は開業から30年以上、萩の風土に合うコーヒーを追求する自家焙煎珈琲店。常時20種類を提供。料金は1500円。1名～5名程度が参加できる（要予約）。月曜日は定休日につき予約の受付と確認不可。

ブレンドしたドリップバッグコーヒー2包にして貰える

長屋門珈琲　イージーオーダー式のブレンドコーヒー作り

改修した古民家でかまど炊きに挑戦

押し寿司作り

かまど炊き

改修した古民家でかまど炊きに挑戦！路乃さんと作る100年のかまどと押し寿司作り体験

築100年以上の古民家をリノベーションした「古民家より路」で、かまどで火を起こし、薪割りしながら薪をくべ、羽釜でご飯を炊く。名人の路乃さんに火加減を手ほどきしてもらいながら、寿司用に少し固めに炊き、アツアツご飯に酢を合わせてご飯を丸め、特注の型に入れ、旬野菜を載せてできあがり。季節の汁物や副菜と、囲炉裏の周りや縁側でいただく。明治40年代の古民家で懐かしい「おばあちゃんの家」を体感できる。

実施時間は11時～13時。料金は3500円。受け入れは2名～4名／2組（要予約、開催日の7日前まで）。

（問）萩まちじゅう博物館推進課　0838・25・3290。

世界遺産・松下村塾で松陰神社「宮司による松陰講話」

令和7年世界遺産登録10周年記念素材で松陰神社本殿で正式な参拝を行ると、普段は上がることのできない世界遺産・松下村塾に上がり、宮司の特別講話を聴く。「傘が開く」と「運が開く」を掛けた「傘みくじ」も人気。

7日前までに予約が必要。

募集型旅行を想定。また、萩市内に宿泊者が対象。開催場所は松下村塾。

料金は1人2千円（4名以下の場合、1組1万円）。所要時間は約1時間。

松下村塾　宮司による松陰講話

人知れず隠れた萩の世界遺産。令和7年世界遺産登録10周年記念素材。吉田松陰の実家「杉家旧宅」特別公開！

幕末の産業化に取り組み産業文化の形成といった地域社会においての人材育成の施設として、吉田松陰の実家「杉家旧宅」が松下村塾とともに世界遺産に登録をされている。

通常は外観のみの見学が可能だったものが特別公開。神職の逸話（私たちの知らない松陰先生など）を聞ける企画。

会場は杉家旧宅。料金は1人1千円（9名以下の場合、1組1万円）。

所要時間は約20分。7日前までの予約。募集型旅行を想定。松陰講話とのセット割もある。

吉田松陰の実家「杉家旧宅」（吉田松陰幽囚ノ旧宅）

維新の先覚者　吉田松陰を祀る神社　松陰神社

1907年に創建された吉田松陰を祭神とする神社。1890年8月、松下村塾出身者などにより松下村塾の改修が行われ、松陰の実家である杉家により私祠として村塾の西側に土蔵造りの小祠が建立された。現在の社殿は1955年に完成。境内には松陰ゆかりの史跡などが点在。近代日本の原動力となった数多くの逸材を輩出した松下村塾と、隣接して吉田松陰幽囚ノ旧宅がある。

吉田松陰歴史館

吉田松陰歴史館が2023年10月に新装開館

吉田松陰の生涯を70体以上の等身大のろう人形で再現した松陰神社の施設。内部は20の場面を再現。音声放送による解説もある。子どもから大人まで理解しやすい展示となっている。とくに世界遺産登録へとつながる吉田松陰と松下村塾、明治維新から現在へのつながりを体感できる。最終場面は長州藩、山口県から輩出された8人の総理大臣のろう人形と記念撮影もできる。観光関連では安倍元総理は日本国内だけでなく、台湾など海外でも人気が高く外国人観光客の来館も期待できる。入館料は大人500円、中高生250円、小学生100円。幼児は無料。20名以上の団体は2割引き。

（問）松陰神社　0838・22・4643。

展示

8人の総理大臣

世界遺産「萩城下町」内の美しい庭園！国指定史跡　菊屋家住宅

令和7年世界遺産登録10周年記念素材で明治から昭和の三期に渡って整備された、普段は公開されていない菊屋家住宅新庭庭園を、新緑と紅葉の時期に合わせて特別公開。十日（部期間を除く）には抹茶席も設けられる。

期間は春期4月～6月、秋期10月～11月。早朝の特別公開も団体対応可能（要予約）。料金は大人650円、中高生350円、小学生250円。団体割引あり（20名様以上）。営業時間9時～17時。

（問）菊屋家住宅　0838・22・0005。

菊屋家住宅　庭園

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」とは

「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、製鉄、造船、石炭産業などの重工業が西洋の技術を取り入れて、日本が「ものづくり大国」となる基礎を作った。2015年の第39回世界遺産委員会で国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産リストに登録された。山口県・萩や九州など8県11市に立地する23の構成資産からなるシリアルノミネーションで、萩エリアには、産業技術導入の最初期の遺産群として萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の5つの構成資産がある。

山口県新ご当地グルメが誕生

山口県観光連盟では、「食」による観光消費の拡大を図るため、新たなご当地グルメを開発。県北部への誘客が県内宿泊客及び観光消費額の増加につながることから、長門市と萩市で開発した。

「新ご当地グルメ」として、長門市で「長州チキンステーキ」、萩市で「長州海鮮まぶし」「長州海鮮うにしゃぶ」の3つのグルメが誕生した。

「長州海鮮まぶし」は、山口県の旬の魚介をたっぷり使ったご当地グルメ。地元魚介をご飯にのせてまずはそのまま、次に薬味を入れて、最後は出汁茶漬けと、ひつまぶしの食べ方にならって食べる。

「長州海鮮うにしゃぶ」は、ウニを惜しげもなく使った濃厚なスープに、山口県の海の幸や野菜をサッとくぐらせていただく贅沢な一品。具材にも長門市のブランドウニ「長州の磯守（いそもり）」がついたウニ尽くし。

萩市内の旅館4つと飲食店5店が参画。「長州海鮮うにしゃぶ」が食べられる旅館は常茂恵、萩一輪、萩本陣、萩観光ホテル。長州海鮮まぶしが食べられる飲食店は割烹千代、レストランまつおか、MARU、萩明倫レストラン萩暦、ダイニングまめだ。

割烹千代　長州海鮮まぶし

萩本陣　長州海鮮うにしゃぶ

萩産長萩和牛ローストビーフ

見蘭牛

萩は魚だけじゃない！美味しい町、萩「見蘭牛」ランチメニュー

和牛のルーツであり、国の天然記念物にも指定されている「見島牛」にオランダ原産のホルスタインを掛け合わせたオリジナルブランド「見蘭牛」。

ランチで気軽に楽しめる。

場所は網焼きレストラン　見蘭（萩市堀内）。3850円～（見蘭牛づくしコース）、6050円～（見蘭牛ミニステーキコース）。

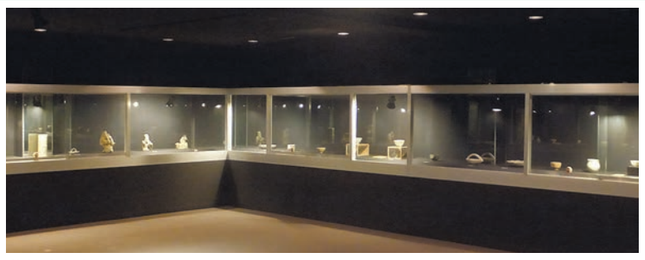
営業時間（昼）11時30分～14時。（夜）17時～22時。7日前までの予約。

旅番組で注目の萩産長萩和牛

旅番組で紹介されて注目を集めた萩産長萩和牛。番組内で登場した「炭火居酒屋　華」では割安な萩産長萩和牛の焼肉やローストビーフが楽しめる。居酒屋なので地元の新鮮な魚料理も提供している。

営業時間は18時～23時。

定休日は日曜日。収容人数は30席で団体客対応可能。


萩焼資料館

貴重な萩焼（古萩）を見学できる萩焼資料館

休日が不定休となっている萩焼資料館が団体（20人以上で3日前までに要予約）客を対象に見学できるようになった。

萩焼（古萩）は国内でも人気の高い陶器で萩文化を代表するもの。世界遺産の構成資産である萩城跡周辺とあわせて外国人観光客にもアピールしていく。

萩焼資料館は萩焼の歴史に触れられる名器の数々を展示する施設で古萩の逸品など約400年前の萩藩御用窯時代の古萩や、江戸初期の松本窯や三ノ瀬窯の初期の作品が多く展示されている。

営業時間は9時～17時（最終受付16時30分）。休日は不定休。料金は大人・大学生510円、高・中・小生300円（団体割引なし）。

（問）千春楽城山　0838・25・1666。

萩・明倫センターバスは「萩観光案内所」が好評

萩の観光の起点である萩・明倫学舎とその玄関口となる萩・明倫センターバス停そばに「萩観光案内所」がまもなくオープン1年となる。

新山口駅から萩への直行バス「スーパーはぎ号」や、萩循環まぁーるバス等が発着する「萩・明倫センター」バス停そばにあることで好評。

観光案内のほか、萩市文化財施設1日券、萩循環まぁーるバス1日乗車券・2日乗車券の販売。

案内所内のテーブルには電源もあるほか、無料Wi-Fiが

萩観光案内所

萩本陣が東館をリニューアル

シモンズ社製のベッドを採用した洋室タイプで、ツインは120cmサイズのセミダブルベッドが2台、トリプルは110cmサイズのワイドシングルベッドが3台。外観や東館への通路もリニューアルされている。

（問）萩本陣　0838・22・5252。

萩本陣が東館をリニューアル

新客室は「スーペリアツイン」と「スーペリアトリプル」を4階に新設。多目的トイレ（1基）もある。

萩地域で宿泊する宿泊客の手荷物を、提携する宿泊施設が無料で取りに来る手ぶら萩観光サービスも実施。対応時間は9時～14時30分。コインロッカー、手荷物預かりもする。コインロッカーは、利用料金100円。手荷物預かりは、荷物1点につき200円。萩・明倫学舎の利用者は、萩・明倫学舎インフォメーションにて無料で預かってもらえる。

レンタサイクルは普通自転車（利用時間9時～16時45分）。料金は1時間300円、1日1500円。電動アシスト付き自転車（シェアサイクル、24時間利用可能）。料金は3時間1500円～。車椅子の貸し出しは無料（2台）。

営業時間は9時～17時で年中無休。

問い合わせ先
一般社団法人 萩市観光協会
〒758-0041
山口県萩市江向602
萩・明倫学舎3号館
TEL：0838-25-1750
萩市観光協会
公式サイトHAGI
https://www.hagishi.com/